定期大会発言・答弁

第1号議案 運動方針（案）

発言

○松永代議員（練馬総支部）

予算は減額になっているが、本部として自治研活動の重要さをどう認識しているか。また、予算の効率化という観点で、ペーパーレスについて検討をしていただきたい。

○直江代議員（目黒支部）

昨年の確定闘争の闘いには大いに感謝している。しかし、諸行動での姿勢や署名の取組みに対しては問題視されている。本部として今後、どう対応していくのか。

○廣崎代議員（文京支部）

一時は停滞していたが、現在では青年部も181名まで回復した。各区で新規採用の必要性を当局に訴え続けた結果であると思う。青年部としても横浜清掃と学習や交流の取組みを行ってきたが、今後は、各支部や各地連に積極的に足を運んで行きたい。

答弁

○坂本副委員長

練馬の先進的な取組みに敬意を表す。自治研活動は本部としても核となる取組みだと認識している。行動・署名の取組みについては、組織としてしっかりと周知していく。青年部の取組みに対して、本部としてもしっかりと支援をしていきたい。

第2号議案 2015組織財政方針に対する総括および一部見直し（案）

発言

○高野代議員（中央支部）

今後、行動費を一定にするなど、課題として検討していく必要がある。今後の取組みの中で、専従役員は支部へ入っていく必要があると思っている。さらに身近になれるよう取組んでいく。

答弁

○多田副委員長

行動費等の整理はどうしていくのか。また、専従職員は積極的に支部へ入っていただきたい。

第4号議案 各会計予算（案）

発言

○金子代議員（北支部）

地連交付金の在り方について発言する。小さい地連なので、支部数や組合員数を考慮して検討していただきたい。また、交付にあたって取組みや実績も勘案していただきたい。

○高野代議員（中央支部）

70周年事業について。記念品はどう考えているのか。また、動員補助金の増額を今後検討していただきたい。

答弁

○田口書記次長

今後は、地連の事情も含めて検討していきたい。記念品も含めて議論し、補助金についても今後検討していく。

○廣崎代議員（文京支部）

きたい。

全国の清掃労働者として、主体的に問題意識を持った運動展開を!!

第74回定期大会を開催　都市清掃労働組合協議会

都市清掃労働組合協議会は2月21日（木）から23日（土）にかけて、神戸の地で第74回定期大会を開催。全国から24単組100名の清掃労働者が結集。わが組合からは都市清掃役員を含め7名で参加してきました。

◀大会の最後は坂本議長の団結がんばろうで成功裏に終えた

大会初日はまず坂本議長（東京清掃）の挨拶を受け、自治労中央本部小迫現業局長・神戸市環境局清水局長から激励の挨拶を受けました。2日目はこの間、わが組合としても大変お世話になっている、大東文化大学の藤井誠一郎准教授から「職場の仕事のあり方から清掃事業を展望する」と題した記念講演を受けました。引き続いての特別報告では、西村代議員（東京清掃副委員長）から、この間、わが組合として取組みを強化している自治研活動の経過を報告してきました。

議事である、第1号議案の「2019年度活動方針（案）」、第2号議案「予算（案）」は満場一致で確認されました。

清掃労働者を取り巻く状況は、地球規模で環境問題が広がりを見せる中で、循環型社会の構築に向け、新たな廃棄物行政の展開が求められています。また、廃棄物行政・清掃事業のあり方については、廃棄物全般にわたって発生から最終処分に至るまでの対応・対策が必要です。一方で、自治体の財政赤字により、公共サービス部門の規制改革、市場化の動きが加速し、多様な手法で民営化・民間委託などの流れが強まっています。こうした中で、清掃労働者が主体的に問題意識を持った運動を取組む必要があります。

都市清掃は、全国唯一の職能別組織として歴史と伝統を守るとともに、それぞれの職場・地域の課題を闘い抜く必要があります。

全国の現業・非現業を問わず情報の共有化と結集を図り、都市清掃運動を展開・強化することを参加者全員で確認し、最後は坂本議長の力強い団結がんばろうで大会は成功裏に終了しました。

（渡辺　歩）

▶1年間の総括と向こう1年間の活動方針が確立された

第14回定期大会を開催

一組総支部

一組総支部は2019年2月8日に第14回定期大会を開催しました。定期大会では議長に早川さん（北工場支部）を選出し、来賓のご挨拶をいただきました。

▲一組総支部第14回定期大会

▲新春交歓会

昨年の確定闘争の闘いには大いに感謝している。しかし、諸行動での姿勢や署名の取組みに対しては問題視されている。本部として今後、どう対応していくのか。

一時は停滞していたが、現在では青年部も181名まで回復した。各区で新規採用の必要性を当局に訴え続けた結果であると思う。青年部としても横浜清掃と学習や交流の取組みを行ってきたが、今後は、各支部や各地連に積極的に足を運んで行きたい。

練馬の先進的な取組みに敬意を表す。自治研活動は本部としても核となる取組みだと認識している。行動・署名の取組みについては、組織としてしっかりと周知していく。青年部の取組みに対して、本部としてもしっかりと支援をしていきたい。

今後、行動費を一定にするなど、課題として検討していく必要がある。今後の取組みの中で、専従役員は支部へ入っていく必要があると思っている。さらに身近になれるよう取組んでいく。

今後は、地連の事情も含めて検討していきたい。記念品も含めて議論し、補助金についても今後検討していく。

「顔の見える」「足を運ぶ」運動の強化を

染委員長から清掃労働者で組織する労働組合としての、社会的役割を果たし、良質な公共サービスとしての清掃事業を確立しようと励ましの挨拶の後、2018年度活動報告及び会計報告、同会計監査報告が承認されました。続いて2019年度運動方針・予算が提案され、全会一致で承認されました。続いて、一組総支部役員が紹介され、大会宣言採択の後、中里委員長の力強い団結ガンバローで大会は成功裏に終了しました。

新春交歓会では、約100名の参加者に参加いただき、終始和やかな雰囲気で来賓の皆さまをはじめ各支部と親睦を深めることができました。

一組総支部は、昨年委託の提案が示されるなど様々な課題に直面してきました。今後は、委託の問題点を検討する必要があり課題は山積していますが、一組総支部役員をはじめ組合員が団結して全力で取組みます。

（西村　好勝）

第68回定期大会を開催

自治労東京都本部

わが組合の上部組織である自治労東京都本部が3月2日（土）連合会館において第68回定期大会を開催。

都本部役員を含めた11名で参加してきました。

冒頭、座光寺中央執行委員長の挨拶では、「沖縄へのたたかい・米国トランプ政治・この1年間の取組み・3本の柱に拘った運動方針」について触れ、来賓では自治労中央本部福島書記長をはじめ、連合東京岡田会長など6名から激励と連帯の挨拶がありました。続いて、4月に行われる統一地方選挙都本部推薦候補8名から一言ずつ挨拶がされました。

議事に入り、一般経過報告や運動方針、会計予算（案）等は、都本部方針に賛成する立場で多くの発言がありましたが、すべての議案が賛成多数で承認されました。また、わが組合の大田総支部からサポートを受けた、「大田区環境公社労働組合」が組合結成に至り、新しく都本部の仲間となりました。

また、役員改正もあり、わが組合の染前委員長が副委員長に就任となり、新執行部の信任投票では、圧倒的多数の得票数をもって信任がされました。

わが組合としても、自治労産別運動の発展と強化にむけて都本部運動に結集をはかるとともに、引き続き連帯して取組んでいきましょう。

（渡辺　歩）

◀新規加盟が承認された「大田区環境公社労働組合」のお二人

◀賛成多数で新たな運動方針が確立された

福島の声を！福島の想いを！ 3・16福島県民集会に参加

福島第一原発事故の発生から8周年を迎えた、3月16日（土）に福島市教育会館で「2019原発のない福島を！県民大集会」が開催されました。わが組合の運動方針にもあるように、脱原発社会を目指すため、現地集会への参加を積極的に取組むこととし、今年は5名で参加してきました。全体の参加は1700名。

（主催者発表）

昨年7月に、東京電力が福島第二原発の廃炉を決定しました。事故の責任を放棄した被災者等への補償打ち切り宣言は、福島県民の人権と生存権を蔑ろにするものです。

戦後最大の人災・公害とされる福島原発事故は、未だに廃炉も道筋が見えないうえに、毎日発生する300トンの汚染水の解決には程遠い。政府や規制委員会による福島沖への放流は時間の問題となっています。

五輪開催を理由とした安倍政権による原発事故の幕引きを許さず、国や東京電力に対して事故の責任を取らせるとともに、被災者への生活再建支援を始めとした、被災された福島県民と寄り添う運動の拡大が必要です。

〝地震だけなら復興できるが、原発事故はそうはいかない〟福島の声を、福島の想いを忘れることなく、わが組合としても、再稼働反対！脱原発社会を実現するため、積極的に取組んでいきましょう。（渡辺　歩）

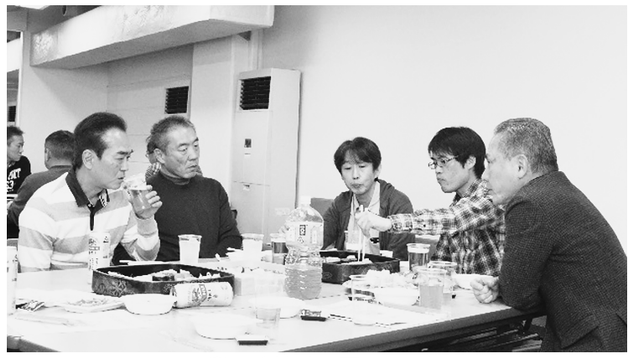
▲参加者全員で想いを掲げる

▲わが組合も積極的に署名を取組んだ

2018年度退職者歓送会を開催

長い間お疲れ様でした！

2月28日（木）SKホールにおいて2018年度退職者歓送会を開催しました。今年度は少数の参加となりましたが、お忙しい中、退職を迎えられました。そして、参加者全員から一言ずつ心のこもったご挨拶をいただき、昔を懐かしむとともに明日からの活力を得ることができました。



▲楽しく歓談してきました

今日の東京清掃労働組合があるのは、厳しい交渉を闘いぬき、諸条件を勝ち取ってきた諸先輩方の多大な努力があったからこそです。そうした先輩方が卒業を迎えようとしています。

心から感謝を申し上げるとともに、引き継いだ私たちはさらに強固な組織として東京清掃を発展させるため全力で取組みを進めていきましょう。

長い間本当にお疲れ様でした。また、再任用として働かれる先輩方は、引き続きのご指導・ご協力を宣しくお願い致します。

（渡辺　歩）

▲昔話に花を咲かせる参加者たち